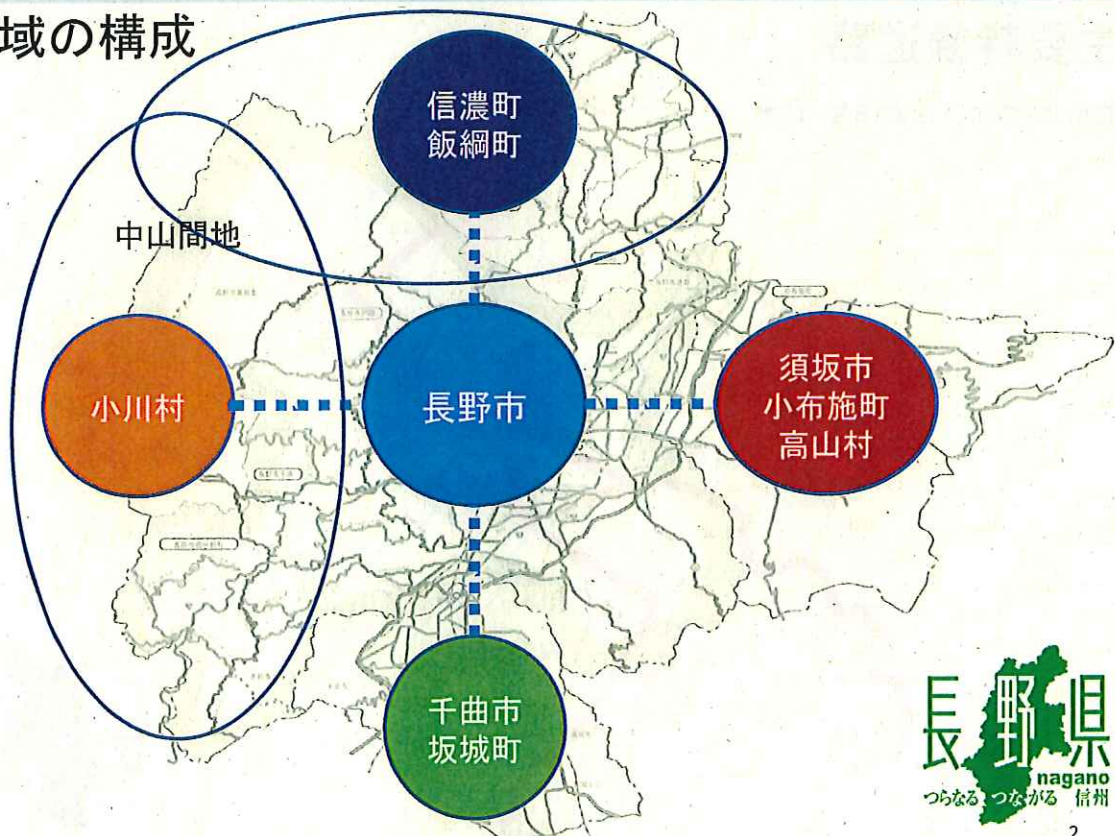


# 長野地域の道路整備状況について

長野建設事務所・千曲建設事務所・須坂建設事務所



## ・地域の構成





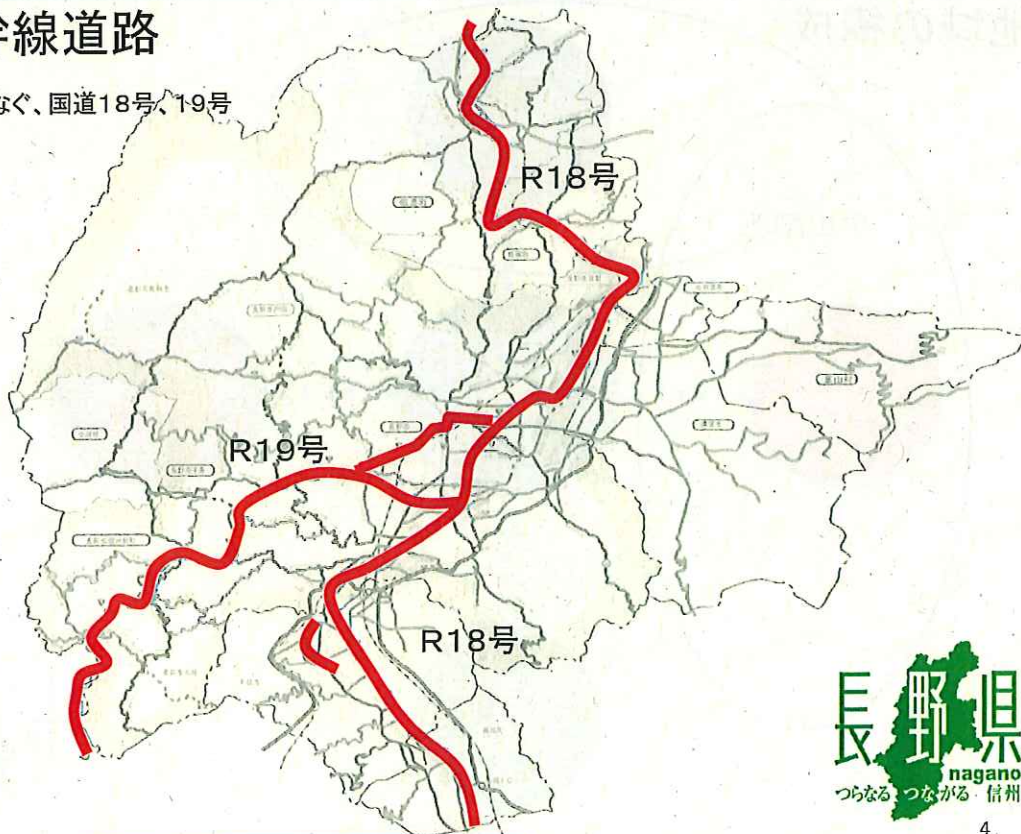
## ・高速交通網

- 長野地区内には、インターチェンジが5箇所ある
- また、スマートインターチェンジが2箇所ある



## ・主要幹線道路

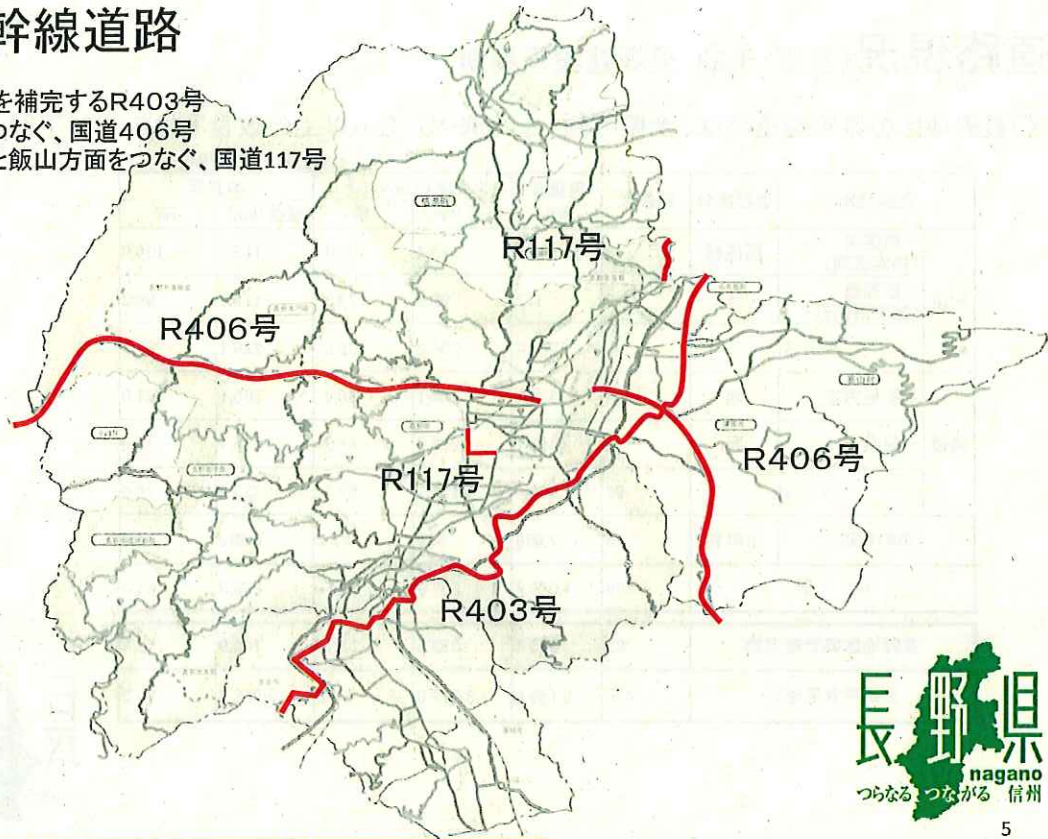
- 南北をつなぐ、国道18号、19号





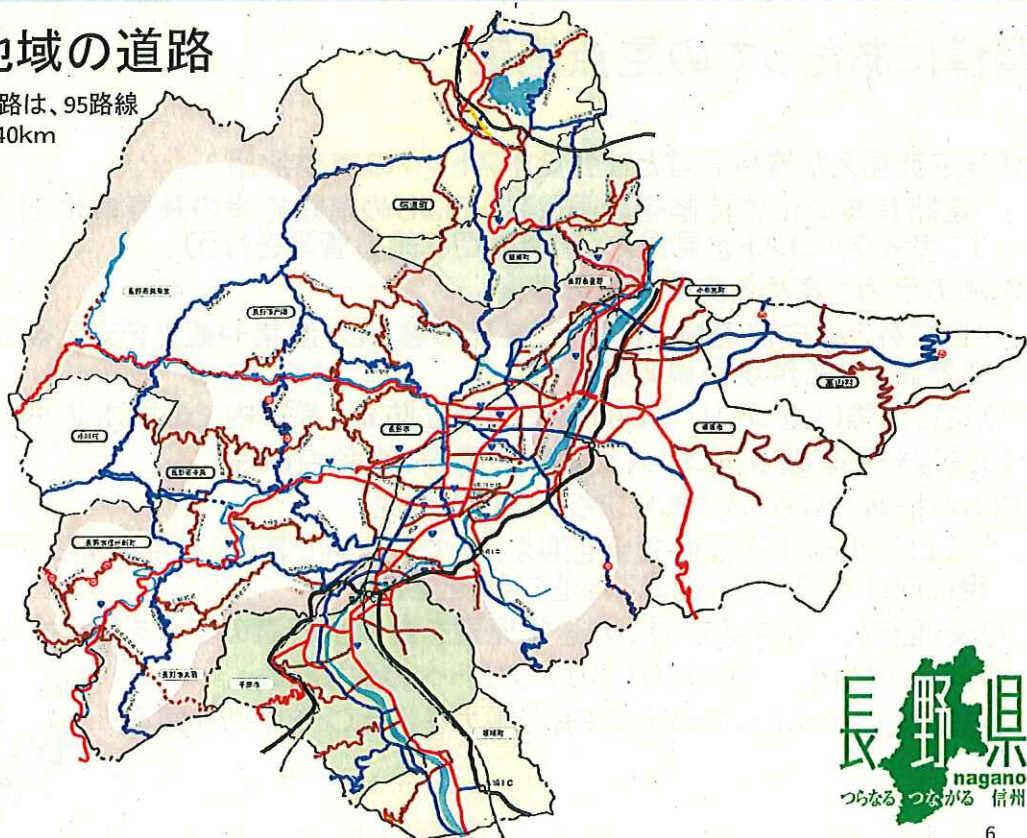
## 補助幹線道路

- R19号を補完するR403号
- 東西をつなぐ、国道406号
- 市街地と飯山方面をつなぐ、国道117号



## 長野地域の道路

- 県管理道路は、95路線  
延長約940km





## ・道路現況(長野・千曲・須坂建設事務所)

○長野地区の県管理道路は、全県の約18.3% 5.5m以上の改良率は5.6%下回る。

平成23年4月1日現在

道路種別	管理区分	路線数	実延長 (km)	改良済(5.5m以上)		改良済		
				延長(km)	率	延長(km)	率	
国道	一般国道 (指定区間)	国直轄	3	113.4	113.4	100.0	113.4	100.0
	一般国道 (指定区間外)	県	3	117	92.8	79.3	112.7	96.3
	小計		6	230.4	206.2	89.5	226.1	98.1
県道	主要地方道	県	18	370.3	254.1	68.6	300.1	81.0
	一般県道	県	74	456.1	206.6	45.3	333.1	73.0
	小計		92	826.4	460.7	55.7	633.2	76.6
市町村道	市町村	25	7,906	889	11.2	3,486	44.1	
合計		98	1,056.8	666.9	63.1	859.3	81.3	
長野地区県管理道路			95	943.4	553.5	58.7	745.9	79.1
全県県管理道路			426	5,159.8	3,319.0	64.3	3,988.7	77.3



7

## ・整備にあたっての重点施策

- ・未来を見据えた維持管理と社会資本ストックの有効活用
  - 道路長寿命化維持修繕計画(橋梁をはじめ道路施設の長寿命化を図る。ライフサイクルコストを見据え、適時適切な維持管理を行う)
- ・地域の活力を高める交通基盤の整備
  - 県内外との交流連携を促進し、県民の暮らし、産業や観光を支える交通基盤整備、道路環境整備の推進
  - 1) 災害に強い道づくり(中山間地での孤立防止、都市内での冠水防止)
  - 2) 渋滞緩和を図る道づくり(交通網の整備、交差点改良)
- ・誰もが快適で暮らしやすい“まちづくり”の推進
  - 人口減少や少子高齢社会を迎え、誰でも快適で暮らしやすいまちづくり実現に向けて、環境に配慮した道づくりを推進
  - 1) 交通安全に資する道づくり(通学児童を含め歩行者の安全を確保する)
  - 2) 利用者に優しい道づくり(バリアフリーへの取り組み)
  - 3) 道路照明のLED化の推進(消費電力を抑えCO2削減を図る)



8



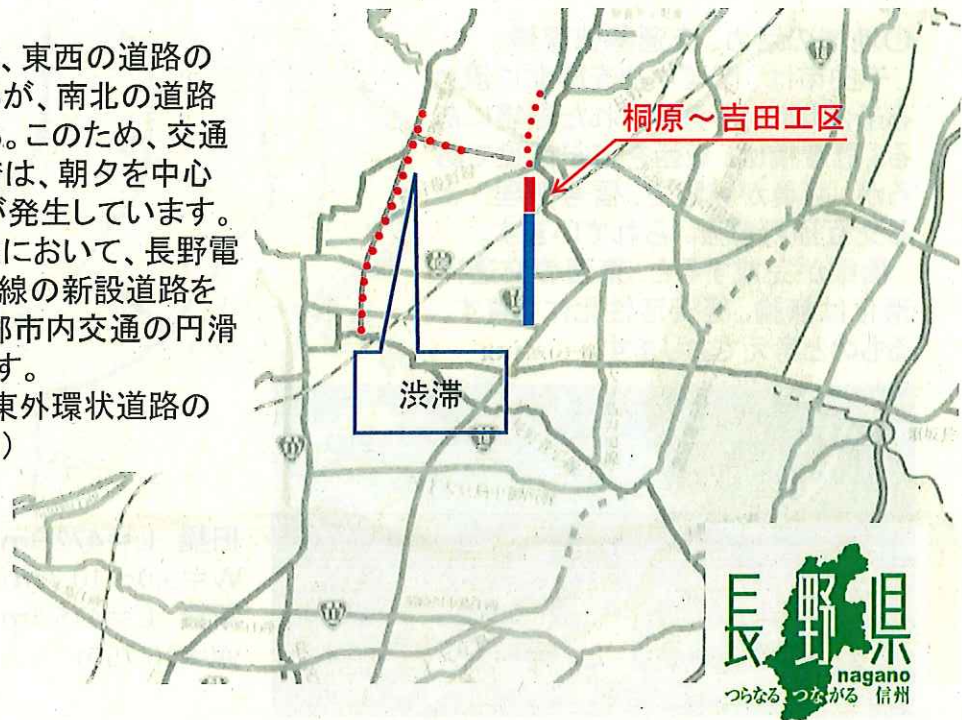
・地域の課題と主要対策事業(長野建設事務所)桐原～吉田工区

○渋滞の緩和

長野市北部では、東西の道路の整備が進んでいるが、南北の道路整備が遅れている。このため、交通の集中する箇所では、朝夕を中心に慢性的な渋滞が発生しています。

(都)高田若槻線において、長野電鉄立体を含む4車線の新設道路を事業化しており、都市内交通の円滑化を目指しています。

(長野国道さんの東外環状道路の整備も不可欠です)



・地域の課題と主要対策事業(長野建設事務所)大豆島

○交通安全+渋滞の緩和

大豆島小学校は、長野市菅平線と大豆島吉田線交差点の前に位置し、児童は、歩道未整備かつ渋滞が発生する中を通学しており、きわめて危険な状況です。

交通安全事業 大豆島は、このような状況を改善するため、交差点改良を実施しており、完成後は、幅広歩道と右折レーンにより、児童はもちろん車両においても、安全で快適な通行環境が確保されます。



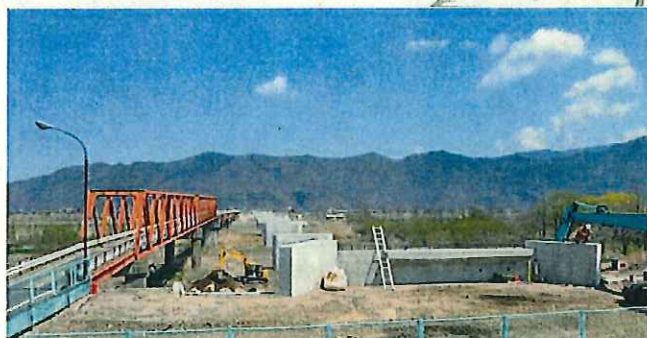
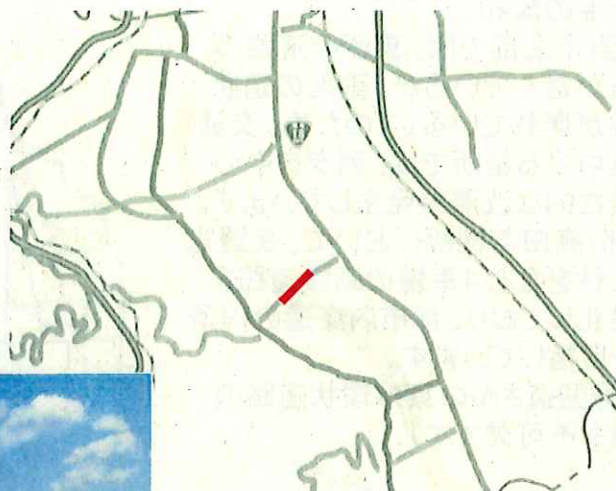


・地域の課題と主要対策事業(千曲建設事務所)冠着橋(かむりきはし)

○地域の活力、交通基盤整備

千曲市は、ほぼ中央を南北に流れる千曲川により分断された環境にある。冠着橋は、東西を結ぶ橋梁であるが、幅員が狭隘で、信号処理による交互通行を強いられています。

橋梁が完成すると、東西の交通円滑化は無論、経済活性化にも資するものと考えております。



旧橋 L=472.9m  
W=3.0~10.75m  
新橋 L=475.3m  
W=10.75m

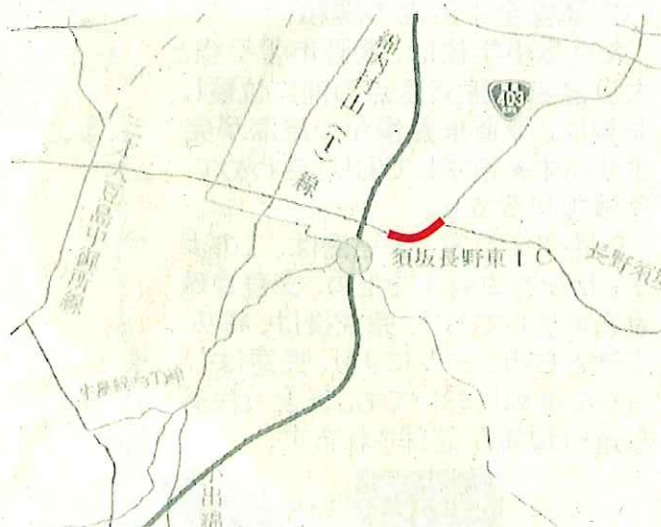


・地域の課題と主要対策事業(須坂建設事務所)須坂(幸高~井上拡幅)

○交通基盤整備、渋滞の緩和

須坂長野東インターチェンジに直結する国道403号の幸高から井上区間は、須高地区への玄関口であるが渋滞による交通のネック箇所となっている。さらに渋滞を避けるために周辺の生活道路に通行車両が流入し、歩行者は危険にさらされています。

このため、改良工事により高速交通網との連携による地域振興と住民生活の安全の確保を図ります。





・地域の課題と主要対策事業(各建設事務所) 橋梁長寿命化

○未来を見据えた維持管理と社会資本ストックの有効活用

道路施設は、高度成長期以降、大半の施設が一斉に整備されてきました。

特に橋梁は、河川など地域を分断する箇所に位置するため、交通の要所となっていますので、重要な施設です。ところが、一般的に言われる寿命50年をそろそろ迎えるため、本来ならば架け替えを行わなければならない状況が迫っています。

そこで、建設事務所では、老朽化が深刻になる前に有効な修繕を行い、橋梁の寿命を延伸し、維持管理費の平準化を目指しています。



小市橋



・地域の課題と主要対策事業(長野建設事務所) 末広町(すえひろちょう)

○誰もが快適で暮らしやすい“まちづくり”の推進

県道長野停車場線の末広町は、長野駅善光寺口に面し、一日1万人の歩行者が利用しています。駅から末広町交差点までの間、冬期において北側歩道に踏み固められた雪が春先まで残る状況です。

平成24年度冬までに、無散水消雪施設(融雪)の整備とLED照明の設置を進め、歩行者の安全と自然に優しい歩道に生まれ変わります。



昨年までの状況





・効果事例 (長野建設事務所) 小島田バイパス

○地域の活力、交通基盤整備、観光  
 県道長野真田線は、長野インターから、国道117号、19号、県道長野豊野線等を経て、県庁及び善光寺に通じる主要道路。小島田地区は、その中間部にあたり、未整備の2車線道路は、交通量を捌ききれず、慢性的な渋滞を起こす原因となっていました。

平成23年度までに、4車線化工事が完了し、渋滞は緩和され、長野市の顔としての道路に生まれ変わりました。



・効果事例 (長野建設事務所) 三才大豆島中御所線他

○誰もが快適で暮らしやすい“まちづくり”の推進

近年自転車は、手軽な移動手段として、また環境に優しいものとして、爆発的に増加し、道路空間では、居場所が無く、歩道上での事故が増えています。

自転車の走行環境確保のため、自転車通行部分指定を、県警と協働で設置しました。



長野市





## ・効果事例 (長野建設事務所) 案内標識(法定外)

○誰もが快適で暮らしやすい“まちづくり”の推進(観光)

長野駅から善光寺までの県管理区間(駅前から国道19号まで)は、新幹線等利用した観光客が、善光寺に向かい徒歩で異動しています。

長野オリンピック以降、海外の旅行者も多く、道路案内標識が対応できていません。しかし、標識令により、標示方法は全国統一されているため、対応できません。

そこで、標識令で予定されない、歩行者用を制作し、設置しました。

(日本語、中国語、ハングル語)

その他の国籍の人のため、ピクトサインによる標示も検討していきたい。



17

## ・まとめ

○多様な交通機関と道路との連携の強化

新幹線、在来鉄道、路線バス、タクシーなどとの、結節点の整備により、利用者の利便性の向上に努めます。

○利用者の目線に立った計画・整備

交通事故、渋滞対策は無論、利用者が感じる「イライラ、ハラハラ」に対する計画整備を進めてまいります。

○整備効果が高い事業計画の策定

幹線道路の未整備区間や、大型通行不能区間、中抜け未整備区間など、必要な箇所への解消に努めます。

○道路施設のエコロジー化

省電力、メンテナンスフリーを意識する道路整備を推進します。

○新たな対策方法の導入検討

生活道路などでの、ラウンドアバウト交差点整備の検討を進めます。



長野地域に暮らす人々の暮らしを守り、整備効果が実感できる道づくり



18



